

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ままいー			
○保護者評価実施期間	令和7年3月17日		～	令和7年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年3月17日		～	令和7年4月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学（児童発達支援）に特化している	未就学に特化しているからこそ、同年代の子ども達同士の関わりを深める事が出来ている。 また、職員体制も充実している事から、手厚い療育支援を行うことが出来ている。	多職種連携を強化し、一人ひとりに合わせた支援計画の見直し強化をし、早期療育の中で地域生活を送ることが出来るように支援を行っていく
2	多職種が在籍しているからこそ、日々連携しながら療育支援が行える	職種が偏ることなく採用している。 現在は、保育士、児童指導員、看護師、作業療法士、言語聴覚士、嘱託医等多職種が在籍し、療育支援を行っている	それぞれの持つ専門性を活かしていけるよう、勉強会を定期的に開催し、さらなる連携強化を図る
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学時（放課後等デイサービス）への移行の支援	現在は未就学児童（児童発達支援）のみなので、今後、移転計画を検討しているので、移転後は放課後等デイサービス事業も展開していく	移転先の検討や、スタッフの増員、人材育成
2	保護者参加型の事業所行事が行えていない	日々の保育、療育を中心に支援している事や、医療的ケア児対象のデイサービスの為、体調が安定しない事、感染症のリスクなどから、中々交流の行事を行う事が出来なかった。また、職員の勤務調整も行わなければならない為、開催する事が難しい現状がある。	令和7年度より、保護者親睦会等の交流行事を計画している
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		まいー		公表日		令和7年5月30日			
				利用児童数		1 1 人		回収数 54.50%	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6						
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6						
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		1	1	まだ施設利用期間が短いので、分かりませんが、一般の保育園のような親子イベント、例えば（おゆうぎ会や発表会見学、親子で工作作り、（一生懸命何かに取り組んでいる様子だけを見られるだけでも嬉しい）、通園の様子が伺える参観日、親子遠足または散歩など）何か子供の施設での動いている様子、楽しんでいる様子など、見れる機会があれば尚嬉しいです。	重心児や医療的ケア児をお預かりしている為、重症化を避けるため感染症予防の観点から親子イベントや一斉に保育参観等を現在は行っておりません。日々のサービス提供記録やInstagram等で様子を配信していますので引き続きご覧ください。また、日々の様子を見に来たい場合はお声掛けいただいて参観可能です。ご意見を踏まえ、今後検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年5月30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個別の部屋はないが、個別対応の場合はパーテーションなど活用して環境を整えられる。立位で動ける子供と、臥床で過ごす子供との部屋を分け、それぞれに合った場所を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	月に一度意見交換や情報共有している。毎朝ミーティングから始まり、報告や連絡、子供達の体調などを確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	会議で情報共有を行なっている。管理者により定期的に保護者との面談を行なっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月1回全体ミーティングを設けて業務確認、目標を決めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	講師を招いての研修やモニター研修など充実している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラム作成、公表は細かく的確である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	管理者他、PT,ST、保育士、看護師とチームでの支援を行なっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	こども達の状況は、日々のサービス提供記録や職員のみで共有できる所に記録し、確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	リーダーの元、活動プログラムを立て、チーム全体で協力し合い活動を行なっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	活動は外で散歩などしたり、室内で身体を動かしたり、アートをしたりと固定化しないように工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	子供一人に対し、担当が一人ついて支援しているが、集団で活動する場合は連携で動いている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	当日に毎日の実施はできていないが、毎月末及び必要に応じ実施できている。業務終了後だったり、終了までの間に話をしたりしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	今まで利用する児童がいなかった。	今後、対象利用児がいる際には支援を行い、相互理解を図っていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	今まで利用する児童がいなかった。就学移行該当児未。	今後、対象利用児がいる際には支援を行い、相互理解を図っていきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	0		療育センターの職員へ定期的に訪問していただき、助言をいただいている
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	他こども園へ行き、健常者の子供達とインクルーシブの大切さを理解し、コミュニケーションを図る。	地域の保育園との交流を行っている。今後も定期的に継続していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	ご家族が参加できるイベントなどは、システムで劣ってる。トレーニングは行なっていないが、情報は提供している。	要望が無いことや、感染症の観点や、医療的ケア児をお預かりしている事により、家族参加は検討中
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	今年度から行なっていく予定です。 今後は予定している。	感染症の観点や、医療的ケア児をお預かりしている事により、家族参加は検討中。今年度より計画している
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	ままいー便りやインスタでの行事や活動の発信を行なっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	勤務期間では訓練はなかったが、マニュアルは作成している。	定期的な避難訓練の実施、マニュアルの見直しを行っている。今後も継続し周知していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		定期的な避難訓練の実施、マニュアルの見直しを行っている。今後も継続し周知していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	食物アレルギー該当児未。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		虐待防止研修の開催、行政主催の虐待防止研修の参加をしている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		